

雪上5人6脚について

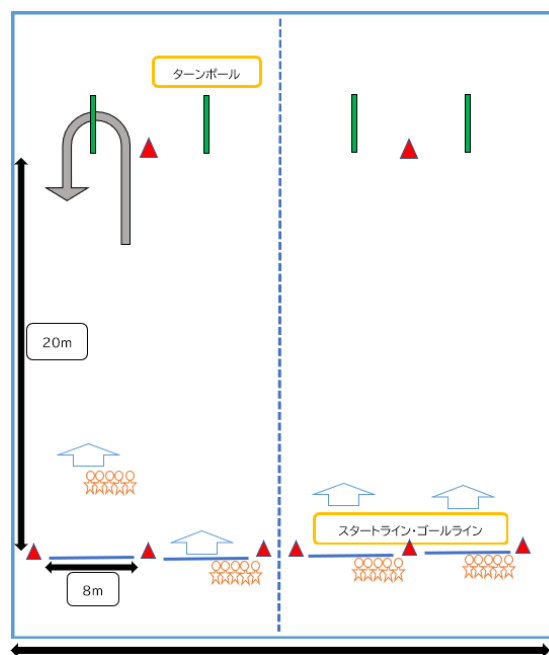
5人1組となって横に並び、隣り合う足首をベルトで留めて、6脚で走る競技。

（競技規則）

●ルール●

- ①隣り合う足首を専用のベルトで留めて、腕の位置は両隣の人のお肩もしくは腰に当てる。
- ②2チームで対戦し、スタートラインから前方20m先にあるターンポールを左回りで折り返し、ゴールライン(スタートライン)までの速さを競う。
- ③「位置について」～「用意」では完全に停止、スターターの笛の合図でスタートする。
- ④勝敗は着順判定とし、同着の場合は代表者によるくじ引きで決定する。
- ⑤ブロック内で同率の場合は、代表者によるくじ引きで決定する。
- ⑥ゴール判定はそれぞれ審判員がつき、チーム全員がゴールラインを超えた時点で審判員が旗をあげる。
旗が早く上がったチームを勝ちとする。
- ⑦転倒した場合やベルトが取れた場合は、速やかに立ち上がり、その場から再スタートする。
- ⑧その他、記載のない事項については、主審の決定を最終決定とする。

●コート●



●反則●

- ・「ベルトが取れた状態でのゴール」
- ・「フライングを2回繰り返すこと」は失格とする。

●服装や靴●

- ・手袋と帽子またはヘルメットを必ず着用する。
(ヘルメットは主催者が用意したものを使用する)
- ・靴は靴底にスパイクがついているものは禁止とする。(例)野球スパイク、陸上スパイク

（競技方法）

●予選リーグ●

- ・ジュニアの部と一般の部、各部門最大12チームで戦う。
- ・1グループ3チームの総当たり戦を行う。組み合わせは、事前に主催者が抽選し、決定する。
- ・各ブロック1位のみが、決勝トーナメントに進出とする。

●決勝トーナメント●

- ・4チームのトーナメント戦を行う。組み合わせは全予選終了後、代表者による抽選で決定する。
- ・3位決定戦は実施しない。

（表彰）

- ・優勝・準優勝・3位(準決勝敗退2チーム)を入賞とし、賞状、賞品を贈る。
ただし、参加チーム数が6チーム以下の場合は優勝、準優勝のみ入賞とする。

注意)※参加チーム数によっては、予選方法と決勝方法を変更する場合があります。